

社会人基礎力の育成と自己評価能力向上への取り組み ー 武蔵大学における三学部横断型ゼミナール・プロジェクトー



武蔵大学
経済学部
笠原 一絵

アブストラクト

三学部横断型ゼミナール・プロジェクトでは、経済学部、人文学部、社会学部の学生がそれぞれの専門性を活かしながら、企業からの課題に対して協働して解決していく点に特徴がある。そのプロセスを通じて、学生の社会人基礎力を育成するとともに、自己評価能力を向上させることが可能となっている。

本ゼミナールを履修した学生は、口を揃えて「こんなに打ち込んで勉強したのは大学生生活で初めてのこと」と述べる。本講演では、学生がそんな達成感を得られる授業の仕組みや工夫点などについて紹介する。

講演者プロフィール

◆ 略歴

	(外資系企業にて勤務後)
1998年	慶應義塾大学大学院 経営管理研究科修士課程修了
2003年	慶應義塾大学大学院 経営管理研究科博士課程修了
2006年	独立行政法人中小企業基盤整備機構 研究員
2010年	武蔵大学経済学部助教

◆ 研究分野、研究テーマ

組織行動論、組織戦略論、人的資源管理論